
ドラハザード

ネギ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラハザード

【コード】

N3086G

【作者名】

ネギ

【あらすじ】

ドラえもんが戦いますサザエさんも出てきますエヴァンゲリオンも出てきます

プロローグ

のび太はいつものように馬鹿みたいに（本当に馬鹿）昼寝をしていた
理由はありえない

ほどでかい音を聴いたからですそして窓を開け外を覗くとエ ア零
号機とラミエルが戦っていました のび太

「え〜何この展開？」のび太
「ドラえもん〜ん」
???

「逃げちゃ駄目だ逃げちゃ駄目だ逃げちゃ駄目だ」

のび太

「そ…その声はドラえもん!？」
ドラえもん

「うああああああ」
15分後

エヴァ ラミエル 沈黙 ドラえ

もん

「フウウ終わった」
サザエさん

「足痛つてえあのタヌキウチのエヴァ持ってた上にボロボロにシヤ
ガツテ出てきたら殺す」
ぐ

うろうう
サザエさん

「腹減つちまつたぜ お、こんな所に肉が」

バクバク

サザエさん

「うめえ」
サザエさんが喰つちまつたのはラミエルの肉でした

サザエさん

「ガアアア」
ドラえもん

「チツゾンビ化しやがったか」サザエさん（ゾンビ）はは通行人を
ゾンビ化させ始めた のび太

「どうなっているんだドラえもん」
ドラえもん

「一度逃げるぞ乗れ」
そう言つとド

ラえもんはドラえもんがCMに出ている所のトラックをのび太の前
に止めた
ドラえもん

「早くしろ死にたいのか」

のび太は飛び乗っ

た ドラえもん

「この箱を開ける」

のび太

「どうやって?」ドラえもん

「これでだ」ドラえもんはのび太にドライバーを渡した

のび太

「道具で開けるよ」

ド

ラえもん

「無理だサザエの野郎にポケットごと蜂の巣にされちまった」のび太

「チツ」

?????

「止まってくれ」 ????

「助けてママ」 のび太

「ジャイアン、スネ夫」

ドラえ

もんはトラックを止めた

ドラえ

もん

「後ろに乗れ」

ジャイ

アン

「心の友よ」

ドラえ

もん

「早くしろ!!」

スネ夫&

ジャイアン

「はい」

レギュラー集結

ドラえもん

「お前達武器は何を持っている？」ジャイアン
「俺はスコープピオンとバットとオートマグ3だ」

スネ夫

「僕はグロツグ17Lと手榴弾が4個」ドラえもん
「そうか…少し戦力不足だな　のび太開いたか？」

のび太

「開いたよ」

ドラえもん

「何が入っている」

のび太

「包丁とワルサーP38と44オートマグと手榴弾6個だ」

ドラえもん

「まあまあだなワルサーと手榴弾3個渡せ」

のび太

「わかった」???

「止まれ」

ジャイアン

「て…敵か!？」

ドラえ

もん

「いや…違うようだあれはしずかだ」のび太

「後ろに乗れ」　しずか

「了解だ」ドラえもん

「しずか武器は何を持っている？」　しずか

「ガトリングとグレネードランチャーとサバイバルナイフとAK4
7と手榴弾23個とデザートイーグルを3丁だ」　ジャイ

アン

「す…すげー」

ドラえ

もん

「ランボーか…」しずか

「どこに向かっている？」

ドラえもん

「ガソリンスタンドに行ってるんだ」20分後…

ドラえもん

「ついたぜガソリン入れるから見張ってる」

しずか

「いつそ灯油入れるやつにガソリン全部入れてこーぜ」

スネ夫

「おーい箱見つけたぜ」

しずか

「ドラえもんはガソリン入れているジャイアンとのび太は見張ってる私とスネ夫はガソリンを灯油入れるやつに入れるぞ」

スネ夫

「箱は？」

しずか

「トラックに入れるどーせだから食料あるだけつめる」

スネ夫

「了解」

ジャイアン&のび太

「て…敵襲〜」

ドラえもん

「何体だ」 のび太

「軽く15体は越えるぞ」

ドラ

えもん

「援護する」しずか

「こっちはあと少しだ」

のび太

「あ…頭を狙え」ジャイアン

「そんなこと知っている」

ドラえもん

「漫才をしている場合ではない」

のび太

「フウ終わった」ゾンビ

「ガアアア」

のび太

「ぎゃあああ」ドーン

銃声

がした

のび太

「し…死んでない」

し

ずか

「油断するからだ次からは気をつけやがれ」

のび太

「た…助かった」ドラえもん

「早く乗れさっきの戦いで弾が無くなった次が来たらヤバイ」のび太

「僕もだ」
ジャイアン

「俺はまだ余裕だ」

4人はトラ

ツクに乗り込んだ

物資補給

しずか

「次はどこへ？」 ドラえもん

「食料はどれくらいだ？」 スネ夫

「5人居るから持って1日」

ジャイアン

「ならコンビニ行こうぜ」

しずか

「いやもつとでかい所だそこなら箱が大量にあるさ」

スネ夫

「箱と言えば僕が見つけた箱は弾薬ぎつしり詰められてたよ」

ドラえもん

「でかした」しずか

「じゃあこの頃できた新しいスーパー行くまでジャイアンとスネ夫は弾薬詰めてろ」

スネ夫&ジャイアン

「サーイエッサー」

15分後

ドラえもん

「捕まっているスーパーに突っ込む」ズゴーン

しずか

「本当に突っ込みやがった」

スネ夫

「ママ〜」しずか

「二手に別れるぞ私にはジャイアンとスネ夫がついてこい」

ドラえもん

「俺はのび太とか」

しずか

「俺らは1階を調べる」

ドラえ

もん

「了解」50分後

しずか

「私達の収穫は食料2週間程分と手榴弾42個44オートマグが6
丁」

のび太

「こっちはケータイ6個とノートパソコン6個プロジェクト90が

4丁スコーパーオンが2丁だ」

ドラえもん

「まあまあだな」ドラえもん

「よしトラックに乗れ」

に乗り込んだ

4人はトラック

休息

しずか

「次はどこへ？」 ドラえもん

「一度寝る場所を探せ」

ジャイアン

「学校だ」 ドラえもん

「了解」 34分後

ドラ

えもん

「着いたぞ のび太お前最初に行け」 のび太

「ええー」 しずか

「つべこべ言ってるじゃねえ、けつの穴に手榴弾突っ込むぞ」

のび太

「すいません」 のび太

「何もいねーぜ」 しずか

「後ろだ」 のび太

「ぎゃあああ」 しずか

「死ねい」 のび太

「助かった」 しずか

「まだ居るぞ」 のび太

「ええー」 ドラえもん

「撃ちまくれー」 のび太

「あれ…弾がない」 しずか

「ちつつかえねーやるーだ」 ジャイアン

「これ使え」 そう言うジャイアンはプロジェクト90を投げて来た
のび太

「助かった」 そう言うのび太はプロジェクト90を乱射

しはじめた
ゾンビA

「ガアアア」 ゾンビB

「ぎゃあああ」 ゾンビC

「ガッ」 のび太

「ふう終わった」ゾンビC

「ガアアア」 のび太

「ぎゃあああ」 スネ夫

「死ねえー」 のび太

「助かった」 ジャイアン

「ん…」 スネ夫

「どうした？」 ジャイアン

「さつきスネ夫が射殺したゾンビ、スネ夫のザマスザマスうるさいおふくろじゃねえか」

スネ夫

「ママ〜」 しずか

「こいつ自分の母親殺しやがった」

ドラえもん

「ハッハッハ」

スネ夫

「ママ〜」 しずか

「それ以上ママ〜ママ〜とかぬかしやがったらロケットランチャー口の中に突っ込んで撃ちまうぞ」

スネ夫

「ごめんなさい」 しずか

「教室に入るぞ」 のび太

「箱発見」 ドラえもん

「何が入っている？」 のび太

「ジャイアンバットでこじ開ける」 ジャイアン

「了解」 1分後ジャイアン

「中身はワルサーMPLが1丁だ」 しずか

「そうか」 ドラえもん

「よし寝るぞ今から5時間誰が見張ってる」

しずか

「じゃあスネ夫とジャイアンとのび太な」 のび太

「ええー」 ジャイアン

「ええー」 スネ夫

「ええー」 しずか

「大丈夫だ我々が寝たら貴様等がねればいいだろ」

のび太

「まあいいか」 5時間後

のび太

「5時間経ったぞ早くしろ」

しずか

「ちっ」 5時間後

しずか

「さっさとしろ」のび太

「あと5時間」しずか

「死にたいか？」のび太

「寝過ぎちまった」しずか

「搜索するぞ」 ドラえもん

「スーパ―のときのメンバーだな」 しずか

「そっだ」 21分後

ドラえもん

「箱は3個だ」

しずか

「こっちは2個だ」のび太

「A47が2丁と手榴弾7個と火炎瓶8個だ」 スネ夫

「ナイフ2本とロケットランチャー1丁とスコープオン1丁だ」

ドラえもん

「貴様等なんか少ないぞ」

ジャイアン

「しょうがないだろ襲われたんだから」

ドラえもん

「貴様等武器どれくらいある？」 しずか

「俺はハンドガン4丁と手榴弾11個とナイフ1本とロケットランチャーとA47とワルサーMPLだ」

スネ夫

「僕はスコープオン1丁とハンドガン2丁と手榴弾4個だよ」

ジャイアン

「俺はハンド2丁とバット1本と手榴弾3個とスコープオン1丁だ」

しずか

「そう言つお前らの武器はなんだ？」

ドラえもん

「俺はプロジェクト903丁と手榴弾9個とハンドガン2丁と包丁1本とスコープオン2丁だ」

のび太

「A47が1丁とナイフ1本と火炎瓶8個とハンドガン2丁と手榴弾8個とスコープオン1丁とプロジェクト901丁だ」ドラえもん
「よし休んだし行くぞ」

日本撤退

しずか

「次はどこに行く？」

ドラ

えもん

「日本にもあきたしどっか別の国に行くか」

スネ夫

「よし飛行場行くか」

ドラ

えもん

「了解」 2時間後

ドラえ

もん

「着いたぞ」しずか

「警戒して行けいつ襲ってくるかわからんぞ」

ドラえもん

スネ夫

の

「解っている」

「なんか来てるぞ」

び太

「て…敵だ」 ドラえもん

しずか

ドラえ

「しかし多勢に無勢だ」

もん

「しかし時間がかかりすぎる」 しずか

「ならどうする」ドラえもん

「トラックに乗りこめゾンビの群れに突っ込むぞ」

ドラえもん

「死ねええ」しずか

「まだ残っているぞ」

ドラ

えもん

「降りて殺せ」

15分

後

ドラえもん

「飛行機を探せ」

5分後

ドラえもん

「ん…電話が鳴っているな…ウム…わかった」
のび太

「どうした」 ドラえもん

「見つかったようだ」

5分後

ドラえもん

「ニューヨークだな…解っているぞ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3086g/>

ドラハザード

2010年10月9日05時39分発行